

3月後半、四姑娘山では未だ時々雪が降り朝方は凍り付きますが、女王谷の標高2000m位の谷間の村里では楊の新緑が鮮やかになり多くの花が咲き始めて本格的な春になり、畑起こしが始まります。今では小型トラクター



ります。今では小型トラクターが畑起こしで活躍していますが、昔ながらの鋤を牛やヤクに引かせる姿も残っています。また、その時に土から掘り出される虫を目当てに、カササギが集まって来ます。この春先に村里で咲く花々を写真でご紹介します。



ホトケノザ：シソ科 オドリコソウ属。春節の頃から、陽当たりの良い畑で見掛けるようになります。



ウメ：バラ科 サクラ属。栽培種のウメは春節の頃から咲き始めますが、野生種は3月中旬に満開になります。初夏に熟する実は生食されます。



アブラナ：アブラナ科アブラナ属。栽培種のアブラナは春節の頃から咲き始め、3月中旬に満開になります。花が咲く前に野菜として出荷される物と、菜種として収穫される物が半々です。



ナシ：バラ科ナシ属。在来種は西洋梨で、3月後半に至る所で満開になります（一部の地方では品種改良された中国梨の花が満開になります）。秋に瓢箪のような実が熟しますが、最近は嗜好が変わって地元でも人氣が落ち、収穫されないまま放置される実が少なくありません。



エンゴサク：ケマンソウ科キケマン属。3月に入ってから青や黄色の花を見掛けるようになります。

スミレ：スミレ科スミレ属。3月に咲くのはこの紫色の種だけです。



リンゴ：バラ科 リンゴ属。3月末になると至る所で咲きます。写真の種名ははっきりしませんが、セイヨウリンゴの花だと思われます。



フキタンポポ：キク科フキタンポポ属。早い年には1月末から咲き始め、3月末まで咲き残っています。



エイザンスミレの近縁種：日本ではスミレ科エイザンスミレ属、当地ではスミレ属裂葉堇菜“*Viola dissecta*”。3月末になると白っぽい花が咲き始めます。



ハシドイ：モクセイ科ハシドイ属。畔や道路脇で多く見掛けます。春節の頃から新芽が出て、初夏の頃まで花を咲かせます。



クロモジ：クスノキ科クロモジ属。3月に入ってから咲きます。樹高6m位になります。